



『明日成る』君たちへ

西九州大学神園キャンパス（佐賀市）に、平成26年4月、
心理カウンセリング学科が新設されます。

地域社会に貢献する“こころを学び、こころを育む”専門家を目指す学生を育成すべく、
準備が着々と進められています。心理カウンセリング学科での学び、
卒業生や教員からのコメントから、新たな大学生活の1ページを覗いてみましょう。



心理カウンセリング学科開設に寄せて

～学生ひとり一人を大切にしながら～

心理カウンセリング学科長 西村 喜文

西九州大学は、九州で最初にできた社会福祉系の大学として発展してきました。その中で、平成13年には、健康福祉学部社会福祉学科に学科内コースとして臨床心理コースが設置され、臨床心理学の専門性を併せ持つ対人援助の専門家としての人材を養成し、多くの卒業生が地域の心理・福祉・医療分野で専門職として活躍しています。

しかしここ数年、社会のめまぐるしい動きの中で、こころの問題が注目されるようになってきました。特に、子どもを取り巻く環境は、災害による危機の拡大、少子高齢化、家族機能の崩壊、長期にわたる経済不況などの混沌とした中で、子どもの成長にとっての基盤である「安心・安全」の場が揺らぎ、子どもの心の豊かさを保障してあげる地域社会での支援が必要な時代になってきました。

このような背景の中、心理カウンセリング学科は、子どもの豊かな心を理解し、臨床心理学の知識やカウンセリングの技術などを活かして、社会の多様な領域で活躍できる人材を育てることを目的に開設されました。すなわち、臨床心理学と障害児教育を前面に打ち出しながら、子どもの成長発達を理解し、地

『明日成る』君たちへ	～学科長挨拶～	1面
『あすなるう』の学び	～4年間の学び～	2～3面
『あすなるう』へのアドバイス	～先輩からのエール～	4～5面
ともに『あすなるう』	～教員紹介～	6面

域社会での支援が出来る人材の育成を目指したものです。また、心理カウンセリング学科の特徴として、入学から卒業まで、少人数のゼミと担当教員によるきめ細かな指導を通して、学生による自主的な学習態度の育成とともに学生への個別的な学習支援の徹底を図ることを目指しています。

このように、本学心理カウンセリング学科は、県内に類似の学科をもつ大学の存在がなく、心理職（認定心理士、児童心理司任用資格、大学院へ進学しての臨床心理士資格取得）、教育職（高等学校教諭一種免許（公民）、特別支援学校教諭一種免許）、福祉職（社会福祉主事任用資格、児童福祉司任用資格、児童指導員任用資格）と子どもをめぐる様々な問題に対応できる高度な資質と応用能力をもった専門職業人へのニーズに応えることができると考えます。

新しくスタートする心理カウンセリング学科の「こころの窓」を開き、学生一人ひとりを大切にしながら、教員一丸となって心理カウンセリング学科を構築していきたいと考えています。皆様方のご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。

西九州大学 心理カウンセリング学科報

心理カウンセリング学科報

発行日

2014年（平成26年）
3月31日

発行元

学校法人永原学園
西九州大学
子ども学部
心理カウンセリング学科

『あすなろう』の学び

皆さんは、将来なりたい自分になるために進学してられました。心理カウンセリング学科での4年間はこのような学びのプログラムになっています。今日よりも明日、明日よりも明後日… 自分の夢に一步步前進していくために、『あすなろう』の精神で挑戦していきましょう！

4年生：“葉”の学び

これまでの3年間の学びを踏まえ、多くの光を吸収し地域で活躍できる専門家としての資質を身につけましょう。

学習内容：心理的問題や課題に対する客観的分析力と柔軟な発想から解決方法を生み出す方法を学びます。
社会人として必要な責任感と夢を実現するために必要な思考と実行力を身につけます。

2年生：“幹”の学び

力強く伸びやかな幹を作り、対人援助力育成に必要な心理学の基礎知識を身につけましょう。

学習内容：「心を学ぶ」ために必要な心理学の基礎知識を身につけます。
「自ら学ぶ」という大学生の学び方について理解します。

3年生：“枝”の学び

多方向に枝を伸ばし、対人援助における問題や課題に対して多角的に捉える能力を身につけましょう。

学習内容：「心を育む」ために必要な能力を心理実践の場で学びます。
ボランティアや研修などで経験した内容を自ら振り返り、次の学習に備える学習方法を身につけます。

1年生：“根”の学び

大地にしっかりと根を張り、大学生としての学びの基本的姿勢を身につけましょう。

学習内容：自分自身の心について学びます。
大学生としての基本的スタディスキル・コミュニケーションスキルを身につけます。



勤務先

佐賀県スクールカウンセラー・
佐賀市役所子ども家庭課
ファミリーコーディネーター

山口 由加

(佐賀県立伊万里高等学校 卒)



西九州大学を選んだ理由について

私が中学生の頃、学校に来られているスクールカウンセラーの存在を知り、自分もそのような仕事に就きたいと思い、臨床心理士を目指すようになりました。私は地元が佐賀という事もあり、佐賀を愛する私は、佐賀県で唯一の臨床心理士養成大学院がある西九州大学に進学し、その後大学院進学を目指しました。

大学での学び

大学では社会福祉全般を学び、大学院進学と同時に社会福祉士を取得しました。大学院進学後は、学校や病院、大学内の臨床心理相談室でケースを持つなど、様々な実習を通し、充実した大学院生活を送ることが出来ました。

仕事について

子どもに関わる仕事に就きたいと思い、現在は、佐賀市役所こども家庭課とスクールカウンセラーを掛け持ちし、子どもやその家庭に関わる仕事をしております。まだまだ経験不足で苦慮することはありますが、これからも信頼される臨床心理士を目指して頑張っていきたいと思っています。

勤務先

児童養護施設 洗心寮 臨床心理士

野口 絢加

(佐賀県立神埼高等学校 卒)



西九州大学を選んだ理由について

私は現在、児童養護施設で臨床心理士として働いています。私が心理士を目指すきっかけになったのは、児童養護施設の子どもの達との出会いでした。当時は、子ども達が様々な形で訴える気持ちが理解出来ず、戸惑いの連続でした。そんな子ども達の心を少しでも理解し支えになりたいと思い、大学の臨床心理コースを選択し、卒業後に大学院に進学しました。

勤務先

NPO 法人それいゆ

里 卓磨

(学校法人若松学園 高陵高等学校 卒)



西九州大学を選んだ理由について

私は、心理学と社会福祉の両方が学べる事に魅かれ、西九州大学臨床心理コースを志望しました。私は心理士として働く事を将来の目標にしています。心理士になるためには、人の心だけでなく、周りの環境や福祉の制度の知識も必要だと感じています。そのため、福祉の知識も学べる臨床心理コースを志望しました。また、もう一つの理由としては、西九州大学大学院は、臨床心理士の第一種指定大学院であるため、卒業と同時に臨床心理士の受験資格を手に入れる事が出来るからです。今後、社会人の経験を積み、学びたいと思った時に大学院に入学し再び勉強したいと考えています。

仕事について

私は現在、NPO 法人それいゆという発達障害児・者の支援機関で仕事をしています。法人の中で私が所属しているのは、成人の生活介護部門です。そこでは、成人の方の日中活動を行っています。時には、ケアホームでの夜間支援にも関わっています。私が関わっている方は、自閉

勤務先

児童養護施設・長崎県スクールカウンセラー

山口 千貴

(佐賀県立白石高等学校 卒)



大学での学びについて

私は、西九州大学社会福祉学科臨床心理コースに進学し、適応指導教室での不登校児童や児童養護施設で子ども達との関わりを通して、臨床心理学に興味をもつようになりました。その中で、箱庭療法と出会い、もっと深く臨床心理学を学びたいと思い西九州大学大学院臨床心理コースへ進学しました。大学院では、心理療法の理論や技法、心理検査などを学び、人の心理や発達についての基本的な知識を得ることが出来ました。また、付属の臨床心理相談室でケースを担当し、実習では、医療機関や福祉施設、教育現場等で幅広く臨床を学びました。そういう体験を通して、自分自身を振り返ること、人と関係を深めていく面白さや難しさを学ぶことが出来たと思います。そして、大学院を修了し、念願の臨床心理士にも合格する事ができました。

仕事について

現在、スクールカウンセラーと児童養護施設で勤務をしています。様々な問題を抱え、自分の課題と向き合いながら生活している子ども達と面接をしながら、臨床心理士として何ができるのかを日々自問自答しています。苦しい時もありますが、子ども達の笑顔等に支えられ、精進していこうと思っています。

大学での学び

授業は心理テストや箱庭療法等の体験、臨床現場での心理面接等の実践中心でした。臨床心理学を学ぶことは、他者の心を理解することは当然ですが、自分自身の心の理解に繋がりました。自分自身の心を理解する作業は、喜びだけではなく苦しいこともありました。しかし現在は、学生時代の経験が臨床の場で活かされていることを実感しながら働いています。子ども達との生活は小さな変化の連続です。これからも、その変化を見逃さずに汲み取り、子ども達の成長を見守り支えていきたいと思っています。

症スペクトラム障害（以下 ASD）と知的障害の重複障害をお持ちです。ASDの方を支援する際には「待つ」という行為が大切だということを職場で学びました。そのために、大学で学んだカウンセラーの三原則（自己一致・無条件の肯定的配慮《受容》・共感的理解）の考え方がとても役に立っています。また、ASDの特性のため、視覚指示が得意で言語指示の理解が苦手な利用者さんがいらっしゃいます。その方々に対して、どのように伝えれば理解して頂けるかを常に考えています。その際に相手の視点に立って考える力（共感的理解）を見に付けていることで、より考えやすくなり、その人に合った支援の提供を行うことができるのではないかと考えています。

後輩へ一言

心理カウンセリング学科は今年度から新たに開設された学科です。初めての学科ということもあり、不安や期待もあると思いますが、そこで何を学ぶかは自分次第だと思います。心理学を学ぶということは難しい事だと感じています。心理学を通して学ぶ人の心は見えないもので、ましてやカウンセリングには明確な正解・不正解はありません。私自身、サークルやボランティア等で関わらせて頂きましたが、初めは不安ばかりでした。しかし、何回か経験を重ねていく内に少しずつ自分に自信が付きしました。今でも自分の関わり方が正しかったのかは分かりません。しかし、何事も経験を重ねていくことが大切だと、社会人になり改めて実感しました。勉強だけではなく、ボランティアやサークル、アルバイト等、多くの事に取り組み充実した大学生活を送って下さい。

勤務先

独立行政法人 国立病院機構
肥前精神医療センター

井内 宏紀

(佐賀龍谷学園 龍谷高等学校 卒)



仕事について

私は、精神科病院の心理療法士として、外来の患者様への心理検査や面接を行い、病棟で種々のプログラムを実施しています。患者様と接する際は、患者様の悩みや思いに耳を傾けること、そして悩みについて一緒に考えることを心がけています。

西九州大学を選んだ理由について

大学に進学したのは、以前より心理学に興味を持っていたからです。普段、家族や友達と話しているなかで、人によってももの考え方が違うし、人の心ってみえないものだなと思ったことがきっかけとなって、次第に心理学に関心を持つようになりました。

大学での学びについて

大学や大学院では、心理学・臨床心理学の基礎から学び、次第にカウンセリングや遊戯療法について学内・学外での実践を通して積み上げていきました。それに加えて、ニュースポーツ関係のサークルの仲間や諸先生方との交流は、人の気持ちを汲みながらコミュニケーションを行うことための知識と技術を培う上で貴重な体験となりました。西九州大学で学んだことが、現在社会に出て働く上で、大きな力になっていると感じています。

勤務先

福岡県スクールカウンセラー

宮本 絵美

(福岡県立伝習館高等学校 卒)



仕事について

私は西九州大学を卒業後、大学院に進学し臨床心理士資格を取得しました。現在はスクールカウンセラーとして小・中学校の相談室に勤務しています。相談の内容は様々ですが、生徒さんや保護者の方・先生方の困り事や心配事の話の聴きながら、一緒にその問題について考えていきます。すぐに上手くいく事ばかりではありませんが、相談者の方の笑顔が増えたり、生徒さんの成長を近くで感じられたときには、とても嬉しく、やりがいも感じます。

大学での学びについて

学生時代の講義では、今まで気づかなかった自分の性格や気持ちに気づいたり、日々の人間関係の？（ハテナ）を解決するヒントを得たりと、生活に役立つことがたくさんありました。

後輩へ一言

先生との距離も近く、直接アドバイスをもらえる機会が多いのは、少人数のコースならではのと思います。誰にでもあえるのに説明するとなると難しい“ところ”について、じっくり学ぶ学生生活を、みなさんにも経験していただけたらと思います。

『あすなろう！』

へのアドバイス

—先輩からのエール—

これから“ところ”を学ぶ皆さんに、先輩からのエールが届いています。

西九州大学を卒業し、心理職や教育職として夢を実現し日々全力投球して働いている先輩の声を聞き、未来の自己像を描く一助にしましょう！

勤務先

福岡県立田主丸特別支援学校

杉 有紀子

(福岡県立朝倉高等学校 卒)



西九州大学を選んだ理由について

もともと学校の先生になりたいくて、教員養成コースのある大学を探していました。そして西九州大学に入学して、特別な支援の必要な子どもたちがたくさんいることを知り、力になりたいと思いました。普通学校の教員になることも考えましたが、今まで学んできたことを活かして、より密に子どもたちと関わりたいと思い、特別支援学校の教員を目指しました。

大学での学びについて

大学生生活では、たくさん旅行に行きました。スウェーデン、フィンランドでの研修旅行、卒業旅行のフランス、韓国料理を食べたくて韓国にも行きました。国内も日帰りや旅行でたくさんのところに行了きました。とにかく楽しかったです。たくさんの思い出が出来ました。また研修などで動作法（心理リハビリテーション）を学びました。実際に今の職場で授業で行うので、とてもためになります。動作法に限らず、ボランティアや研修には積極的に行ったほうがいいと思います。

仕事について

私は小学部に所属しており、国語や算数などの教科や生活単元学習、自立活動、外国語活動の授業を担当しています。教科の授業はほとんど1対1の個別対応で、一人ひとりにあった授業をしています。1対1や少人数の授業が多いのでじっくり児童に関わり、教材を工夫したり、一人ひとりにあった支援の方法を考えながらやっているところです。教材を作ったり、行事が重なると大変な時もありますが、ずっとやりたかったことが、現場で実際に出来るので非常にやりがいがありますし、楽しいです。なにより児童が私の名前を初めて呼んでくれたとき、出来なかった計算が出来るようになったときなど、児童の成長を近くで見ることができ、嬉しいし、やっていて良かったなと思います。

後輩へ一言

大学4年間は長いようでとても短いです。何かやろうと思ったときには躊躇せずやってみて下さい。そしてボランティアや研修に積極的に行ってください。いろいろなことを経験することで将来の仕事にも繋がります。頑張ってください。

西村 喜文 (にしむら よしふみ)**専門分野について**

臨床心理学 芸術療法(箱庭療法、
コラージュ療法、絵画療法) 遊戯療法

趣味・特技

映画鑑賞 水泳

座右の銘

努力は夢をかなえてくれる

新入生へ一言

臨床心理学は、人間を理解し、何より自分を理解することが出来る学問です。学生時代にじっくり自分と向き合うのも長い人生無駄ではないと思います。新しい自分との出会いを期待しています。

池田 久剛 (いけだ ひさたか)**専門分野について**

私の専門は臨床心理学の中でも基本的な、精神分析的な心理療法や、クライアント中心療法といわれる、オーソドックスなカウンセリングです。

趣味・特技

興味があるのは、邪馬台国がどこにあったのかと、やなわらばーさんです。

座右の銘

「やまない雨はない」という言葉が好きですね。

新入生へ一言

今年入学される皆さんは、心理カウンセリング学科の記念すべき第一期生です。是非一緒に、「歴史」を作りましょう。

古賀 靖之 (こが やすゆき)**専門分野について**

私は精神科病院や大学病院に勤務してきた経歴があり、専門分野としては病院心理臨床-特に心身症・神経症・うつ病・適応障害等への行動療法・認知行動療法-です。

趣味・特技

今一番の趣味は健康維持のための愛犬(はな)との散歩、仏像鑑賞、庭木いじりや家庭菜園、読書やカラオケ・音楽鑑賞(1950~1980年代のオールディーズが大好き)です。愛読書は池波正太郎(鬼平犯科帳、剣客商売)、北方謙三(三国志、水滸伝、楊令伝、岳飛伝)、司馬遼太郎(竜馬がいく、翔ぶが如く)など多数。

座右の銘

出逢いを大切に、良い思い出を創る

新入生へ一言

「多くのことに挑戦し、体験を通して感動し、そして自分の人生をデザインしていく」ようにして下さい。

松田 次生 (まつだ つぎお)**専門分野について**

福祉教育、ボランティア論、障害学

趣味・特技

趣味：マラソン

新入生へ一言

(ありふれたことしか思いつきませんが) ご入学おめでとうございます。

ともに 『あすなろう』

教員紹介

心理カウンセリング学科には、皆さんの夢を実現していくための学びを支える8名の教員が、新学期が始まることを心待ちにしています。それぞれの自己紹介文を読み、入学してからは是非積極的に声をかけてみましょう！

青木 研作 (あおき けんさく)**専門分野について**

教育学が専門です。教育の公共性と私事性をテーマに、教育行政や教育政策、そして比較教育(主にイギリスを対象)の観点から研究をしています。

趣味・特技

スポーツ観賞(特に、サッカー、野球)

座右の銘

一期一会

新入生へ一言

大学では専門的な学びやさまざまな出会い・体験を提供します。主体的・積極的に取り組んで充実した学生生活を過ごしてください。

利光 恵 (としみつ めぐみ)**専門分野について**

専門は、コミュニケーションに困難を抱えるおさんとその家族の心理的支援について考える『障害児心理学』です。

趣味・特技

愛犬とドライブに行くのが趣味です。

座右の銘

大学生の時、授業で先生がおっしゃった「やる気・元気・根気・のんき」という言葉、年々素敵なことばだなあと感じてきました。

新入生へ一言

大学生活で悩むこともあるかと思いますが、悩みは人の成長の糧になると思います。悩んだ分人として大きくなるよう、一緒に考えていきましょう。

平川 忠敏 (ひらかわ ただとし)**専門分野について**

専門は、コミュニティ心理学といて、悩める個人へもその周りへも同時にアプローチして、不自由をなくしていきましょうといった観点から仕事をしています。

趣味・特技

テニスが大好きで、結構うまいと自分では思っています。

新入生へ一言

勉強はもとより、よく話をしたり、運動をしたり、いろんな方面から学生生活を充実させていきましょう。そのお手伝いができたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

長野 恵子 (ながの けいこ)**専門分野について**

臨床心理学(ストレスマネジメント、臨床動作法、高齢者臨床心理学)

趣味・特技

趣味：映画鑑賞、ピアノ、始めたばかりのオートハープ、松任谷由実ファン
特技：イスラエルの言葉であるヘブライ語が少々。右から左に書きます。

座右の銘

「明日のことまで思いわずらうな。明日のことは明日自らが悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」

新入生へ一言

座学だけでなく様々な出会いを通して体験的に学ぶこと。そのためには臆病にならず、チャレンジする心を忘れずに。